大阪城
2020 5/7 (木) 14067号
全港湾 西成分会
でんわ 6647-4947

暦の上では、立夏をすぎ、夏である。
気温も暑くなってきた。熱中症も心配しながら労働や生活をやっていく季節に入った。その上に、今年は、コロナ対策で、あと、また1ヶ月、5/31(日)まで、緊急事態宣言だという。

労働、生活、健康、身体の調整などコロナ感染症との戦いをしながらなので、今年の夏を越すのは、だれにとっても、なかなかたいへんな生命がけの仕事になりそうです。コロナで密閉がいけないといい、「換気」をしろというが、熱いから「冷房・クーラー」はかけたい。矛盾の中で生きていくことになる。特急列車も窓を開けて走ってはいたが、これからは悩ましくなる。悩みごとでは、6/18都知事選挙の告示。7/5(日)投開票である。やらないと、来年のオリンピックに暗雲が走る。しかし今の東京では、無理ではないだろうか。

緊急事態宣言31日まで延長、「可能な地域は期限前の解除も」

政府は4日、新型コロナウイルスの感染拡大を受けた全都道府県への緊急事態宣言を今月31日まで延長することを決めた。外出自粛の長期化による影響に配慮し、感染拡大が深刻でない地域で行動制限を一部緩和するなど、社会経済活動を徐々に再開する方針も新たに提示した。

当初の宣言の期限は6日までで、新たな延長幅は25日間となる。4日に首相官邸で開かれた政府対策本部で首相が延長を決めた。首相は席上、「これからは緊急事態の収束のための1か月であり、次なるステップに向けた準備期間だ」と強調した。

首相はまた、今月14日をめどに地域ごとの感染者数や医療提供体制などを専門家に分析してもらい、可能であれば一部の地域で期限前に緊急事態を解除する考えを示した。

あと一月外出自粛きつい 仕事はどうなる 10万円では焼け石に水